

日本クリスチャン・アシュラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

夏季号



日本アシュラム

SUMMER 1988

United Christian Ashrams of Japan

63

開 心・静 聴・充 満・献 身・奉 仕

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。



御言への静聴

ルカ福音書二〇章二一—四二節

海 老 沢 宣 道

古代ヘブル人の指導者たちは皆、直接に神の御声を聴いた人たちでした。予言者サムエルは祭司エリの下で修業中のある夜半に、神の呼びかけを受け、目を覚まして「僕は聴きます。主よ、お話し下さい」と答え、将来の大きな使命を授けられました。この終りの近い時に、神は御子イエスをこの世に降して語られています。(ヘブル書一章一節)故に今日の私たちが神の御心を知るためには、神が主イエスによって語りかけ、神の靈感を与えて、使徒たちに書かせた聖書を日毎にひもとくことが絶対不可欠であります。

「どう読むか」と問い返されました。ここに同じ御言を読むにしても様々な読み方があることを主は暗示しておられます。

あるユダヤ教のラビ(教師)は、聖書はパラダイス方式で読むのがよいと言いました。その第一は逐語的(ベツシャート)、第二は暗示的(レマース)、第三は展開的(テリユージュ)、第四は比喩的(ソアード)の四方式で、これらの頭文字(P.R.D.S)からパラダイスと略称したということですが、以上のように深く広く徹底的に聖書を読んでいる人は多くはありません。当時のユダヤ人は律法の文字を暗誦し、形式的に厳守すれば、それでよいとしていました。だから主のもとに來たこの学者も、主の問い返しに対して、律法の中で最も大切な二項をあげて正しく答えました。

さてある時、主は七二名の信者を選び、二人一組にして全ての町々村々へ送り出されました。一同が伝道の成果を挙げて帰ってきたので、主は聖霊により喜びをもって父なる神に感謝を捧げられました。そこへ一人の学者がきて「永遠の生命を受けるのには、どうしたらよいでしょうか」と質問しています。主は答えて「律法に何と書いてあるか。あなた

それが何を暗示しているか深く思いませんでした。『全心全力をもて神を愛すること』と、『自分同様に隣人を愛すること』と答えたので学校の試

験なら合格点をとれます。然し主イエスの弟子となるためには、答えただけでなく生活上に実行しなければなりません。礼拝を欠かさず、祭壇に供物を忘れず、聖書を読み、近隣の人やユダヤ人同志が仲よく暮すことだけでは守ったことにならないのです。この若い学者は『それらを守っている積りだが、まだ不十分なのだろうか』と疑問が湧いてきたので、『では私の隣人とは誰のことですか』と再び質問しました。そこで主イエスは『良いサマリヤ人』の例話をされ、神と全ての人々に対して、新しい愛の関係に入ることを教えられたのです。主はここで展開法と比喩法を用いられています。

ある教会学校で先生が『先週の聖句は何でしたか』と聞いた時、記憶力のよい子が『汝ら互いに相愛すべし、です』と答えました。然し先生にほめられた彼は教会を出た途端に小さい子をいぢめていたということでした。誰でも最初は聖書を読む時知的要求をもって読みますが、何が書いてあるかを知っただけでは、信仰の糧とはなりません。また先入観や自分の主観を基準として、都合のよい御言を探して選んだり、それを何かのために利用するのは罪となるのであって、発信者(神とイエス)の御心を主としな読み方となります。私たちは聖書をひもとく時、ひたす

理事長 海老沢宣道
編集人 大淵淳一郎
発行人 大石 冨郎
定価 60円

ら祈り、聖霊の御助けを受けて神の言を正しく悟らせて頂くことが大切です。

モーセの五書に精通している筈の祭司やレビ人は、エリコ街道で強盗に襲われて負傷している人よりも、礼拝儀式を守ることや律法の教育をすることが大事だと考えていたのでしょうか。『向う側を通って行った』のはそのためです。然しそのあとでユダヤ人に憎まれていたサマリヤ人が来て彼に近づき、親切に傷の手当てをした上、宿屋に運び夜通し介抱してから、翌日宿の主人に金を渡して看病を頼んで出かけたというのです。このサマリヤ人は誰のことでしょうか。名前が記されていません。主は若い学者に『この三人のうち誰が被害者の隣人になったと思うか』と尋ねられました。『勿論愛のわざをした人です』と彼が言うと、『あなたも行って同じようにしなさい』と主は言われました。これは単に愛の実行を促されたものではありません。二八節の御言にある通り神の愛に生きる時、永生(真の命)が与えられることを教えておられるのです。

ルカはこの学者との問答のあとに、主がベタニヤの村へ行かれた時のことを記録しています。さてその八三節以下の出来事は、よく婦人会などで問題になる話ですが、御言を正しく聴くことについて

『イエスは主である』

の実例が示されています。主イエスの一行がマルタとマリヤの家を訪れた時、姉のマルタは主を歓迎しようと接待のことに心を奪われ、遂に自分の働きを重視して、妹への非難、愚痴をイエスに述べてしまいました。あのサマリヤ人が急用の旅行中にも拘らず大変な事件に出会った時、一言の文句も言わず、いつも自分たちを憎んでいるユダヤ人を助けた態度といかに対照的でしょう。思い煩いが過ぎると、折角の歓迎が不愉快な事にさえなるものです。それに反して妹マリヤは、主イエスを心から迎え、足もとに坐って、御言を聞くのではなく、御言に聴き入っていました。素直な心で主に対し敬愛と信頼とをもって、卒直に受け入れる聴き方をしていました。これを『御言への静聴』と言うのです。主は彼女の態度を喜ばれ、『人生において不可欠のものは多くはない。唯一つである。マリヤは良い方を選んだ。それを彼女から取去ってはならない』と姉マルタを戒められました。これは奉仕をしないでよいという意味ではありません。もしマリヤが『先生、姉は奉仕を誇ってうるさいから、ここに来て静かに坐るよう言って下さい』と言ったら、恐らく『あなたは静聴を誇るのか。あなたも行って姉と同じようにしなさい』と言われたでしょう。では良い方とは何のこ

とでしょうか。私たちが聖書を読み、祈る時も、奉仕する時も、全く自分を空しうして、聖霊の導きの下、御声に聴き従うことでしょうか。どんなに聖書を読んでも、奉仕をしても、イエスを主としていないなら『良い方』にはならないのです。ある教会で実によく奉仕した人がありました。教会では多くの委員を引受け、行事には卒先して準備から当日の接待、あと片付けをし、町や市の公共団体の役員にもなり、社会活動をしていました。いつしかその事を彼女は誇りに思うようになりました。ある時牧師が『もう少し礼拝にも遅れないで初めから参加されては』と言った所『先生、私がこんなに忙しく奉仕して疲れているのに、礼拝に早く出席せよなんて無理ですよ』と彼女は怒り出し、教会から離れてしまいました。御言に養われていないなら、その奉仕はいつしか主のためになされていけないことを暴露するでしょう。

有名な指揮者のトスカニーニは、ベートーベンの第九交響曲を世界各地で五〇回以上も指揮して、『やっとうにかうまく演奏できるようになった』と言いますが、ある夜バルコニーで夜空を仰ぎ乍ら、『ルドイヒ、私の演奏はあれで良いでしょうか』と問いかけていたということだす。しかも尚、原作者の意に合うようにと、ベートーベンの自筆の原譜を探し求め、たんねんに調べ、次の演奏に生かしたということだす。私たちも夜毎に主イエスを仰ぎ、『主よ、私の生活はこれで良いでしょうか』と問いかけ、更に聖書を祈りをもって深く味わい、御言によって、日々の思いと言行とを訂正して頂きつゝ生きる時、やがて御霊の實をゆたかに結ぶ神の子となることができるでしょう。『キリストの言葉をおあなたがたの中に、ゆたかに宿らせなさい』(コロサイ三章一六節)

(ロマ書十章九節)

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

好評・再版出来
海老沢宣道著
『アシラムの原則と実際』

「大乘仏教とキリスト教」
 洲江淳一 著
日本アシラム事務局扱い
定価 1,500円(下共)
東京宗教研究所発行
大乘仏教をも大きく包摂することのできる
キリストの福音を語らんとしている著者の
脈々たる気魄をこの論説から感得していた
だきたい。(小池辰雄師の序文より)

第一回バルナバ・アシラムと

第七回国際アシラム参加の恵み

バルナバ・アシラム世話人

石 神 勇

五月三日から五日にかけての三連休を利用して第一回バルナバ・アシラムを奥多摩の福音の家で開催した。処定員四〇名が参加して信徒有志の企画アシラムとして盛会を極めた。助言者は日本アシラムの海老沢委員長を始めとして各地区の現又は元委員長経験者をお願いして祈りの細胞の司会助言もお願ひした。集るものは四国松山や名古屋。北は札幌からという工合で全国的な参加者となり三分の一はアシラム初参加の人達であった。来年第二回開催の世話人を選出して閉会したが、人数も適当で家庭的なしっくりしたアシラムであった。只経営的には小人数では無理があるので来年は五〇名程にしようとの声があった。

第七回国際アシラムは五月一三日から二日までの九日間を韓国ソウルのオリンピック・ホテルで開催されたが、アメリカ、カナダを主なメンバーとして四五名程に日本から大石嗣郎師を始め淵江千代子夫人、あと

五名はバルナバ・アシラム参加者であった有馬歳弘師に、石神勇、大井サダ子、大坂貞子、吉沼勢以さんたちであった。韓国側出席者を含めて六〇余名程の参加者であった。アシラムはジム・マシューズ師を主な指導者として催されたが、アメリカ婦人たちの活躍が目をついた。

第二日目の聖日礼拝は一人取容のヨイド純福音教会に参加したが、超満員の会衆が堂を圧する声で賛美歌を唱える様なすさまじいものを感じた。礼拝を終わって外へ出ると教会前の大広場に次の礼拝参加を待つ大衆が時はよしとばかりドッと入口の大階段をはせ上るすばらしさ、この様な礼拝が朝から七回繰り返されるといふ。韓国四千万の人口の内四人に一人が信者だといふ。

アシラムは午後の教会活動報告。日本の時間で大石師が五〇枚程に編集したスライドを映写したが、バルナバ・アシラムの皆さんが紹介された。六名の助言者の方たちの三本指は特に人目をひいた。夜八時から三〇分は証しの時間。日本で石神が指名されたが、通訳は英語達者の淵江千代子夫人がして下さったので証しの要点を前もってお知らせしておき、聖句もロマ書一〇章一、二節を見ますと……と言うと夫人が後を引受けてロマ書一〇章を読んで下さる……といったぐあいで、通訳による

しくお話しして頂いた。

食事の時は数かずつ卓につくのであるが、マシューズさんと隣り合った時バルナバ・アシラムの話良かったですよ……と言われたと通訳された。淵江夫人がうまく通訳して下さったのであろう。

第四日目と五日目の夜七時からは四千人収容の南山(監理)教会でマシューズ師の聖霊を受けよ……との大説教会が催された。アシラム参加者の外韓国教会員が多数参加して楽団演奏に合せて賛美歌の大合唱には皆手を打ちたい喜びの賛美をする。独唱があり聖歌隊があり祈りがあり、すべて流れる如くプログラムが進む。一杯で賛美している図である。日本では見られぬ礼拝風景である。

第三日目の午後は有馬師の図らいで金牧師の案内でソウルの警視庁ともいふべき内務部治安本部の季警隊長を訪問したが、室には「全警察福音化」の額がかかっており、キリスト祈りの額やキリスト教のカレンダーが掲げられている。記念として韓国語の小型聖書を全員に贈られた。金牧師は警察や軍隊専属の牧師だといふ。第六日は朝礼と聖餐式で九時に終わったがその日は韓国政府の接待客として三八度線の板門店に行き三〇〇米地底のトンネルをくぐった。その他多くの見学を終えて無事帰国した。

- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシラムの五大原則と守り方を平易に解説。

新刊好評
サトタル・アシラム指導者
D・P・タイタス著
植村俊雄 訳

「御国を来らせ給え」
神の国に就ての研究

A 6判40頁定価二百円 70円
スタンレーの後継者インドの
タイタス師の名著

最新刊好評

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作
忽ち世界各国でベストセラーになった

インド途上のキリスト

金井為一郎元訳 淵江淳一新訳
美装幀 B 6判 250頁 価1900円 7250円

若千23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

第七回国際アシュラムに

参加して

日本クリスチャンアシュラム連盟

総務 大石 嗣郎

五月14-18日韓国ソウルの北西端に位置する会場ラマダイン・オリンピアホテルで四ヶ国(米・加・日・韓)代表60名により、「神の然りが響く」と題し、IIコリント一章(17-20)を中心に全期間が格調の高い霊的雰囲気の中で行われた。

韓国側の木目細い周到な準備のもとになされ、韓国訳「神の然り」まで発行された。しかし監理派にのみ偏する傾向が集会や動員牧師にあつたことが残念でした。韓国側の捕え方が、アシュラムゼミナーとかミッショナリーという名称に表われているように、アシュラムを講習か勉強会のような考え方が支配的であつた。そのため全期間通じて参加する者が少なく毎日の顔ぶれの違う出入りの激しかったことは、今後日韓合同アシュラムの場合に留意すべき点である。日本代表七名は言葉のハンデを超えて積極的に参加したことに敬意を表す。特に淵江千代子姉の同時通訳のご苦労に対して感謝している。

城北アシュラム報告

天門教会 神山 まえ

第19回城北アシュラムは、本年二月11日、主題「僕聞きます、主よお話し下さい」にて天門教会を会場に行われた。一年間一ヶ月おきに持たれた準備祈禱会の祈りが豊かに答えられ祝福された集会であつた。会衆63名は城北アシュラムに属する四教会以外からも多く集まつた。

① 開心の時 更生教会安藤師御用
② 祈りの細胞 六分団に分れ祈る
③ 昼食と交り 天門細谷師の司会で
④ 静聴の時 池の上教会島津師御用
⑤ 福音の時 東京聖書学校横山師
⑥ 充満の時 海老沢師が御用に当られ一同輪になって讚美感謝した。献金七七〇三〇円が与えられそれぞれ日本・関東アシュラムに二万円献金。

第12回城西アシュラム報告

成瀬ヶ丘教会 植村 俊雄

四月二十九日(天皇誕生日)午前十時から午後四時半まで持たれた。会場は日本神の教会北野キリスト教会。参加者20名、「開心の時」淵江淳一、「静聴の時」草村美、「献身祈禱の時」松沢信廣が担当、献金奨励植村担当。神昼食(交り)は松沢が担当、特に神の教会の沿革について説明を聞くことができ大変有益であつた。また受付昼食の用意は北野教会のお世話終了後感謝の時を持ち再会を期した。

四国アシュラム報告

松山で一日アシュラム

昨秋九月に海老沢宣道師を迎えて主の恵みに満された松山市にある祈りの友は、年一回でなく今春にも聖

会を持ちたいということになり、河野修、戸田寿雄両師などが中心となつて、三月十二日(土)に松山済美会館の新しいチャペルで一日アシュラムを守つた。

◆ 集会予告 ◆

▼ 四国アシュラム

九月22日(木)午後1-23日(金)祝日
会場 松山済美会館集會室(二番町) 及新会館(井門町)
助言者 在日大韓基督西成教会
連絡先 松山市山越四11-1 河野 修師

▼ 九州アシュラム

日時 九月一日-二〇日
会場 八木山福岡女学院研修場
助言者 淵江淳一師
申込先 802北九州市小倉北区 下富町一18-140 山本繁夫師

▼ 関東アシュラム

日時 九月一四-一六日
会場 古里福音の家
助言者 土山牧羔師

◆ 追悼 ◆

原田定男師(81才)単立神明教会の名誉牧師、一月二五日肺炎のため召天、元ナザレン教団総理、日本アシュラム中部地区委員長として長く協力された方。謹んで哀悼。

アシュラム生活の最良の友

アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、靈的な読物

価 200円 70円, 年1,620円

発行所(256)小田原市国府津3-11

振替口座(東京)1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来36年続行中

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著

神の然り

B6判 220頁

定価1200円 送料250円

〈キリストに明け渡した人生〉

海老沢宣道 訳

日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れた今世紀世界最大の宣教師が死に勝つ勝利の確信を説く万人必読の書。

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を

取り入れて創始された。...

東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会気付 日本クリスチャン・アシュラム連盟